

## 教育学科

現場体験学習と学内講義の往還で、教育現場や地域で活躍できる資質と能力を育成

教育に求められる多彩な力を養うための現場体験学習を実施し、その体験の支えとなる講義を行っています。座学だけでは身につけることができない“心の強さ”や“前向きな気持ち”、“周りの人と協働して物事を完成させる力”を鍛え伸ばします。本学ではこれらを「人間力」と呼び、現場で即戦力として活躍できる先生に必要不可欠な力として重要視しています。

## 学びの Topics

## 教職支援センター

教員をめざす学生にさまざまな情報を提供するとともに、教員採用試験対策講座も担当します。本センターが行う対策講座では過去問の実施・解説をはじめ、専門家による講義や模試の実施、面接対策等を行っています。模試の結果をもとに個別面談にて各自の得意・不得意を明確にし、合格に向けて全力でサポートします。また、学校現場体験や教育実習の指導・相談も担当しています。学生の皆さんが円滑に実習に取り組めるようサポートを行います。



### 取得できる資格

- ◎小学校教諭一種免許状
- ◎中学校教諭一種免許状（英語）
- ◎高等学校教諭一種免許状（英語）
- ◎高野山真言宗僧侶資格
- ◎社会福祉主事任用資格

### めざせる進路

- ◎小学校教諭
- ◎中学校教諭
- ◎高等学校教諭
- ◎国家公務員
- ◎地方公務員
- ◎社会福祉主事
- ◎僧侶

## Open Campus 2024

### 事前申込制

お申込みはコチラ▶



### オープンキャンパス

### 毎日がオープンキャンパス

12/14日 開催時間 14:00-16:30

普段のキャンパスの様子を見たい方、オープンキャンパスに参加できない方、個人的に話を聞きたい方におススメです。お気軽にお問い合わせください。

申込受付期限 12/11水 正午まで

受付時間 月曜日～金曜日（土・日・祝は除く）9:00-16:00

### アクセス

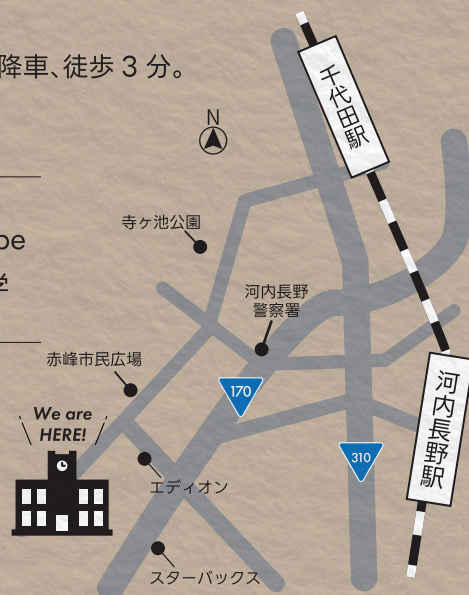
南海高野線「千代田駅」より「緑ヶ丘北町行」バスで約12分、「東峯口」で降車、徒歩3分。自家用車での来校・通学も可能です。（駐車場完備）

高野山大学公式 SNS

Instagram @koyasan\_edu

X (旧Twitter) @koyasan\_edu

YouTube @高野山大学



最新情報はHPをチェック!



### 河内長野キャンパス事務室

〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町1685  
（大阪千代田短期大学を共同使用）

TEL.0721-53-1101



高野山大学

教育学科

# 教員採用試験 合格者 インタビュー



教員採用試験に合格した教育学科の学生に、本学での学びや採用試験に対する取り組みについてインタビューを行いました！本学の後輩、未来の後輩への応援メッセージもあります！



# 合格者

## 教員採用試験

# インタビュー

広報スタッフ  
自己紹介をどうぞ!



つくだ しんたろう  
佃 慎太郎 さん

- 出身高校 高野山高校
- 採用自治体 神奈川県川崎市
- 好きなこと 野球



きたぐち ひろむ  
北口 大夢 さん

- 出身高校 大阪暁光高校
- 採用自治体 大阪府堺市
- 好きなこと ツーリング



のざき たくみ  
野崎 巧光 さん

- 出身高校 奈良県立五條高校
- 採用自治体 大阪府大阪市
- 好きなこと 読書、マンガ

### Q 教員をめざしたきっかけを教えてください!

**野崎さん**：高校生の頃に通っていた塾の先生の一言がきっかけです。同じ塾に小学生も通っていて、空いている時間に子どもたちの宿題の手伝いをしたり、わからない問題を教えたりしていました。その時間が楽しくて、その様子を見ていた先生に「小学校の先生に向いてるんじゃない?」と言われました。昔から人のお世話をすることが好きだったこともあって、先生を目指してみようかなと思いました。

**北口さん**：高校生の時、進路を迷っていたところ、担任の先生から「先生」を勧められたことがきっかけです。公務員は視野に入っていたのですが、先生からのアドバイスと昔から子供が好きだったこともあって、教育学科への進学を決めました。

**佃さん**：高校生の時に野球部のボランティア活動として、紀三井寺球場で小学生が対象の野球教室に参加していました。そこで小学生と一緒に野球をしたり、ボールの投げ方や打ち方を教えたりしたことが、とても楽しかったことを覚えています。その時が子どもたちと触れ合える仕事である「先生」を意識し始めたきっかけだったと思います。

けだったと思います。

### Q 実習に行ってみてどうでしたか?

**野崎さん**：優しい先生や可愛い子どもたちのおかげで、とても楽しく実習に挑めました。僕が担当させてもらったのは3年生で、とても元気な学年でした。元気すぎるあまりに子ども同士のケンカもしばしば…。最初はびっくりしてうまく対応できなかったのですが、子どもたちとの関わり合いの中で対応方法を身につけられたのかなと思います。子どもたちの笑顔や笑い声から、たくさん活力をもらうことができました。子どもたちは本当に体力が有り余っているので、外での遊びは正直大変でしたが… (苦笑)

**北口さん**：実は実習に行く前は、卒業してから大学院に進学することも漠然と考えていました。大学院で研究をして自分の学びを深めてから、教員になってもいいかなと。実際に実習に行って、担当の先生にたくさん指導をいただくうちに、現役で教員になって、若いうちからたくさん苦労した方が自分のためになるのでは、と考えるようになりました。

**佃さん**：僕は母校での実習でした。実習前は正直、朝寝坊はぜっ

たいにしないように!という気持ちでいっぱいでした(笑)。緊張はほとんどありませんでした。実習中は、子どもたちが僕のことを「先生」と認識してくれていたことがとても嬉しかったし、子どもたちに助けられた部分もたくさんありました。やっぱり現場は教科書通りではないので、毎日何が起こるか分からないところがあって大変でした。そのたびに、どんな対応をすればいいか考えたり、臨機応変に対応されている先生方の様子を見て学んだり、充実した実習期間になったと思います。

### Q 教員採用試験に向けてどんなことに取り組みましたか?

**野崎さん**：とにかく過去問をやり込む、です。また高校の赤本や中学校・高校の教科書も活用しました。アルバイトで塾の講師をしているので生徒(中学生)に問題を教える中で、自分の理解も深まった部分もありました。説明していると頭の中の情報が整理されてスッと入ってくる感じです。教職支援センター主催の面接対策にも参加しました。話すのは好きな方ですが、いざ面接!となると頭が真っ白になって、面接の練習の重要性を改めて感じました。

**北口さん**：面接練習です。大学推薦を受けることができたので面接にかなり比重を置いて対策しました。始めは拙い回答も、何度も練習するうちに淀みなくスラスラと、自信を持って言えるようになりました。それから大学推薦はGPA\*がかなり重要です。GPAは1年生からの積み重ねなので、1年生からなるべく良い成績をとり続けられるように頑張ることも大切だと思います。

**佃さん**：勉強するに限ります。それから、わからないことは先生に質問する!面接の対策もそうですが、とにかく先生にたくさん助けていただきました。先生はすぐに対応してくれるので、とてもありがたかったです。

\*GPA…グレード・ポイント・アベレージ(Grade Point Average)の頭文字を取ったもので、大学での成績評価をグレード・ポイントに換算して算出する1単位あたりの成績の平均値のこと。

### Q 高野山大学での学びはどのように役立ちましたか?

**野崎さん**：僕たちは高野山大学教育学科の1期生なので、自由なことに取り組ませてもらったことが役に立ったのかなと思います。自分たちでサークルなどを立ち上げるなど、自ら動かないと始まらなかったのが、自主的に積極的に動くということは大学で学

んだことの一つです。また学校現場体験では、さまざまな学年でまんべんなく体験させてもらったので、「このくらいの年齢の子どもなら、こんな言動をするだろうな」という、事前知識的なものがあらかじめ分かって、実習の前の心の準備になったと思います。

**北口さん**：2年生の時に大学のプログラムでインド研修に行きました。生活に困窮している子どもたちが物乞いをしている現場を訪れたり、インドにある大きな大学にも訪問したりしました。学ぶ機会すら与えてもらえない人が存在する一方で、貪欲に学び続けられる環境にいる人もいる現実を目の当たりにしました。誰一人置き去りにしない教育を意識したのはこの研修がきっかけです。

**佃さん**：体験学習で様々な世代の人とのかかわり方を学びました。教育実習では子どもとのかかわりはもちろん、先生である大人とのコミュニケーションも非常に重要です。先生方ともすぐに良好な関係を築くことができたのは体験学習のおかげだと思います。また、子どもたちとのかかわり方も学校現場体験で学べたので、実習でもすぐに子どもたちと仲良くなれたことが、楽しい実習期間になった要因の一つかなと思います。

### Q どんな先生になりたいですか?

**野崎さん**：自分の好きな事を好きと言い合えるクラスを作れる先生。お互いを否定せずに受け入れられる、そんな考え方を伝えていきたいです。

**北口さん**：学びを通して夢を持たせる先生になりたいです。僕は、学ぶ意欲から夢に繋がると考えています。学びを深めることで、自分では想像もしていなかったような夢を掴むことが出来ると。教員たちに学びを通して大きな夢を持たせられるような授業をしていきたいと思っています。

**佃さん**：誰一人取り残さない先生です。ちゃんと全員に目を配れる先生になりたいと思っています。

### Q 教員を目指す後輩や、未来の後輩に向けて一言!

**野崎さん**：困ったときは必ず先生が助けてくれます。全力で合格まで駆け抜けてください!

**北口さん**：今のうちからいろんなことにチャレンジして、たくさんの経験を積んでください。教採でも絶対に役に立つはず!です!

**佃さん**：仲間と協力して最後まであきらめずに頑張ってください!

